

知財登録システムの進化と新方式

SIRの世界展開を睨み、2026年(令和8年度)は、知財登録の簡便化及び新設する世界無形資産銀行(WIB:The World Intangible Bank)等との協業の観点から、下記のように会員が簡便に知財登録や保管や活用ができるように知財登録システムを更にアップデート(新方式)しました。

◎新方式を優先採用してください。従来方式は、令和8年度末までは併存しますがそれ以降は新方式が標準になり、従来方式は使えなくなります。

◎特別なソフトをインストールすることなくクリック操作によってwindows、Mac等の環境で知財登録が行えるようにしました。

◎会員の知財本体情報(元情報)を協会の知財登録システムにアップロードすることなく、そのハッシュ値(元情報の指紋)を知財登録情報として自動的に会員の知財バンク(IPB)に預かるハッシュ預かり方法にすることで、ギガサイズの動画や金型情報等も知財登録できるようになりました。知財登録の簡便化も実施しました。

*この方式は世界知財機構(WIPO)が採用していた進化版です。

*協会は技術情報、文化情報、社外秘情報等を世界中で保護・活用する仕組みを新設するWIBや大学等と協力して構築する計画です。

◎新方式の使い方は、新方式のヘルプを参照してください。

*当面は従来方式もこのページの後に参考までに記載しておきます。

新しい知財登録システムの特徴

- ◎世界知財機構(WIPO)が実施していた情報指紋(ハッシュ)方式の進化版。
 - ・ギガレベルの知財本体情報にも対応可能な実績ある世界展開方式を採用。
⇒写真、音声、動画、金型データ等あらゆる大容量デジタル情報に対応。
 - ・知財本体情報(元情報)をアップロードすることなく元情報のハッシュ値を表紙PDFに添付して『知財登録情報』として知財バンク(IPB)に預かる。
⇒256bit高度自動暗号及び復号化機能。
 - ・会員は、いつでも元情報の改ざんや変更の有無(非改ざん性)を検証できる。
⇒個々の元情報をZIP化してこのZIPファイルでの照合も可能。
 - ・世界標準Adobe Acrobat Readerによる電子署名認証と世界実績のある複数のタイムスタンプサーバーによるタイムスタンプ押印バックアップ。
⇒知財登録情報(ハッシュ値付き表紙PDF)にSIRによる電子署名認証を表記。
- ◎クリック操作により簡便に知財登録、タイムスタンプ押印、知財預入、検証等が可能。
⇒Windows&Mac環境等で動作。
⇒簡便な知財登録オペレーション(知財(IP)コード等の自動割り当て機能等)。
- ◎知財追跡(IPT)や知財登録表示(IPD)による二セモノ対策及び流通管理等。
- ◎新設する世界無形資産銀行(WIB)や大学との協業発展の土台完了。